

平成12年 東海豪雨 西区あし原町・新川破堤箇所
（「東海豪雨水害に関する記録（名古屋市）」より）



災害対策委員 News とは
市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し
役をお願いしている災害対策委員（区政協力
委員が兼務）の皆様、防災に関する情報を
この News で定期的にお届けいたします。

名古屋市では、平成12年9月の東海豪雨において、
新川左岸堤防が破堤し、天白川流域でも氾濫が発生す
るなど、市内の約37%が浸水しました。

近年、全国各地で豪雨災害が頻発しています。名古屋
市でいつ起きてもおかしくない大規模風水害に対す
る備えを、今一度見直してみましよう。

TOPIC 防災に関する備えはこの1冊で!

～「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を作成～

風水害、地震、津波などの災害リスクを掲載したハザードマップと、防災情報や日ごろからの
備えなどを掲載したガイドブックを「なごやハザードマップ防災ガイドブック」としてまとめてい
ます。令和4年6月以降市公式ウェブサイトに掲載し、令和5年3月には全戸配布を行う予定です。

名古屋市 防災マップ（暮らしの情報） 🔍 検索



「なごやハザードマップ防災ガイドブック」とは?

ハザードマップ

次の災害のハザードマップ等を作成

- 洪水 ●内水氾濫 ●高潮 ●地震
- 津波 ●ため池氾濫 ●指定避難所

POINT “想定最大規模”の風水害

近年全国各地でかつて経験したことのない
記録的な大雨による被害が発生していること
を踏まえ、発生頻度は低いものの、過去の
災害規模を上回る「**想定し得る最大規模**」
の風水害（洪水、内水氾濫、高潮）ハザードマッ
プを作成しました。

（広報なごや特集号（令和4年3月）
にて、事前にお知らせしていま
す。）



防災ガイドブック

災害ごとの注意点、身を守るための行動、
被災したときの心得やマイ・タイムライン
などを掲載。

POINT マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムライン
は、災害時に「いつ」
「誰が」「どのように」
行動するかを時間の
流れに沿って考え
ておくものです。
（ガイドブックには、マイ・
タイムラインを作るための
解説も記載しています。）

項目	内容
1	災害発生時の対応
2	避難場所の確保
3	家族の連絡方法
4	災害発生時の行動
5	災害発生時の連絡

災害対策委員の皆様から 周知・啓発をお願いします

台風・大雨など災害の発生に備え、地域住民の方々が防災に関する次のような取り組みを行っていた
だけよう、**地域の防災リーダーである災害対策委員**の皆様からの周知・啓発をお願いいたします。

① 避難行動の見直し

新しいハザードマップを見ながら、次のことを
確認・検討しておきましょう。

- 自宅・自宅周辺に災害リスクはあるか
- 自宅近くの指定緊急避難場所はどこか
- 災害時、どこにどの経路で避難するか

② 防災情報の理解・入手

災害時に市から出される「避難を判断するた
めの情報」の意味を理解し、その情報を確実に
手に入れられるように、いろいろな手段を試し
てみましょう。

【防災情報を入手する方法の例】

- テレビ・ラジオ
- 市公式ウェブサイト
- 緊急速報メール・きずなネット防災情報
- 市公式SNS Twitter (名古屋市防災)
Facebook (名古屋市防災)
LINE (名古屋市)

③ 身を守るための助け合い

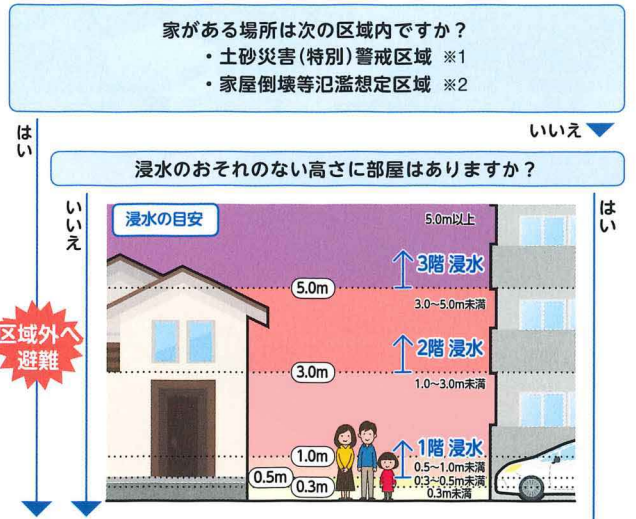
災害時には近隣で助け合う「共助」が必要不
可欠です。日ごろから顔の見える関係を築き、
災害に備えましょう。

- 日ごろのお付き合いを大切に
- 地域の防災訓練や行事に参加

避難に時間のかかる方（ご高齢の方、
障害のある方、乳幼児等）とその支援
者は、「警戒レベル3 高齢者等避難」
で避難する必要があります。



▼ 避難行動の目安



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ
はい

指定緊急避難場所へ 親戚・知人宅などへ 自宅にとどまることも可能

●土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンションなどの上の階に住んでいる場合は、自宅にとどまり、安全確保することも可能です。
●浸水時間が長い場合は、家から外に出られなくなったり、ライフラインが使えず衛生環境が悪化したりするなど、生活に支障がでることがあります。そのため、食べものや飲みものなどの十分な備えが必要です。
●「親戚・知人宅」などへの避難の場合は、各市町村の公式ウェブサイトなどでハザードマップを確認しましょう。

名古屋市宿泊施設避難助成金制度

※1または※2の区域にお住まいの方は、ホテル・旅館等へ避難する際に助成金制度を利用できる場合があります。

▼ 避難を判断するための情報

警戒レベル	名古屋市から出される避難情報	とるべき行動
5	きんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保 必ず発令されるとは限りません	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4までに必ず避難！		
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から 全員避難
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人などは 危険な場所から避難

■警戒レベル1、2は気象庁が発表する注意報など